

表示した地図はないかと尋ねられ、丸善其他を探したが見当らず、後日小生が写して送る旨約した。又陶器やのれん等日本の優れたデザインに興味を持ち、又洋服のモデル人形の顔が西洋人であるのをみて、何故東洋人のを使わないかと西洋依存に一矢を報いた。

三日間に亘る日程も何時しか過ぎて夕方愈々離名の時が迫つた。駅のプラットホーム迄行つても未だ話しが尽きず、列車発車の為め止むなく固い握手を交わし、再会を約して別れを惜しんだ。

(三重県立大学水産学部)

新 著 紹 介

稲 垣 貫 一 著

日本近海産ナガマツモ族の分類学的研究

K. INAGAKI: A Systematic Study of the Order
Chordariales from Japan and its Vicinity. Sci. Pap. Inst.
Alg. Res., Fac. of Sci., Hokkaido Univ., 4(2):
87-197, Figs. 1-83, Pls. I-XI, 1958.

日本近海のナガマツモ族植物は体の成長点に重点をおいた KYLIN (1940) の分類法によると、4科、17属、29種、16品種に分類されることが、この研究によつて明らかにされた。第1章は緒言で、第2章では、体の外形、枝分れの様子、体の基部、体の中軸、成長点、髄層、皮下層、皮層、毛、単子嚢、複子嚢の順に分類の標徴となる要点が述べられている。このなかで、著者は成長点にみられる特有の性質は体が発生の初期にある間だけ、はつきりしているもので、成体になると、現在伸長しつつある若い枝の尖端でも、もはや、成長点に特有な形が失なわれて、普通の枝の尖端の組織と殆んど区別ができなくなつてゐることを指摘して、この族の分類には春季にみられる1mm乃至2cm程度の幼体を詳しく観察する必要があることを強調している。第3章の種の記載の項では、かなりの種類について、このような幼体の観察が実際に行われ、体の発生の経過が詳しく述べられている。

記載された17属のうちに *Pseudochorda* という新属がある。これは、ニセツルモ *Chordaria nagaii* TOKIDA には、①毛がない、②単子嚢は同化糸の最下端の細胞にできて、細長い棍棒状の形をしている、③体が中空である、④第一次の基部が周辺に肥大癒合して二次的な基部をつくり、根様糸は基部の周辺か裏面からでる。などの点で、*Chordaria* 属と区別されるので、新属として、山田・時田両教授と連名で発表されている。また、ネバリモ属を2つの節に分け、体が中空で、髄層が多角形の細胞で網状になつ

ているものを Sect. *Leathesia* とし、体は中空でなくて、髓層の細胞が円筒状或いは楕円状のものを Sect. *Primariae* としている。ネバリモ属には 11 種が記載され、このうち 3 種が新種である。そのほかの属では、いずれも、1~2 種であるが、*Haplogloia* 属に新種が 1 種、また、ネバリモ、クロモ、イシモヅク、マツモ、ニセモヅクは新しく 2~4 の forma に分けられている。これらの新しい知見と synonym の関係を列記すると、つぎの通りである。なお、*印のあるものは著者の Contributions to the Knowledge of the Chordariales from Japan I. Sci. Pap. Isnt. Alg. Res., Fac. of Sci., Hokkaido Univ., 4(1): 1~14, Figs. 1~10, 1954. において発表された新知見である。

Leathesia difformis (L.) ARESCH.

f. *globosa* (TAKAM.) INAGAKI, comb. nov.

syn. *L. globosa* TAKAMATSU

Leathesia saxicola TAKAMATSU イワネバリモ

syn. *L. granulosa* TAKAMATSU

Leathesia sadoensis INAGAKI, sp. nov. オケサネバリモ

Leathesia yezoensis INAGAKI, sp. nov. コツブネバリモ

syn. *L. umbellata* YENDO (non MENEGH.)

Leathesia japonica INAGAKI, sp. nov. コゴメネバリモ

Myriogloia simplex (SEGAWA et OHTA) INAGAKI, comb. nov.

syn. *Tinocladia simplex* SEGAWA et OHTA

Papenfussiella kuromo (YENDO) INAGAKI, comb. nov.

syn. *Myriocladia kuromo* YENDO

f. *kuromo* INAGAKI, f. nov. クロモ

f. *gracilis* INAGAKI, f. nov. ホソクロモ

f. *densa* INAGAKI, f. nov. フサクロモ

Haplogloia kurilensis INAGAKI, sp. nov. イワモヅク

* *Sauvageaugloia ikomae* (NARITA) INAGAKI, comb. nov. クロモヅク

syn. *Castagnea ikomae* NARITA

* *Sphaerotrichia divaricata* (AG.) KYLIN

f. *divaricata* INAGAKI, f. nov. イシモヅク (クサモヅク)

f. *epiphytica* INAGAKI, f. nov. ヤセモヅク

syn. *Sph. japonica* KYLIN

syn. *Chordaria cladosiphon* OKAM. (non KÜTZ.)

f. *chordarioides* (YAM.) INAGAKI, comb. nov. ニセナガマツモ

syn. *Sph. chordarioides* YAMADA

f. *gracilis* (YAM.) INAGAKI, comb. nov. ホソバノニセナガマツモ

syn. *Sph. chordarioides* YAM. var. *gracilis* YAMADA

Saundersella saxicola (OKAM. et YAM.) INAGAKI, comb. nov. イシツキゴビア

syn. *Gobia saxicola* OKAM. et YAM.

Heterochordaria abietina (RUPR.) SETCH. et GARDN.

f. *abietina* INAGAKI, f. nov. マツモ

f. *gunjii* (YENDO) INAGAKI, comb. nov. グンジマツモ

syn. *Chordaria gunjii* YENDO

syn. *Heterochordaria gunjii* (YENDO) TOKIDA

Pseudochorda nagaii (TOKIDA) INAGAKI, comb. nov. ニセツルモ

syn. *Chordaria nagaii* TOKIDA

* *Acrothrix pacifica* OKAM. et YAM.

f. *pacifica* INAGAKI, f. nov. ニセモヅク

f. *crassa* INAGAKI, f. nov. フトニセモヅク

(中村義輝—北海道大学理学部海藻研究所)

学 会 録 事

会 員 移 動

(昭和33年1月より 昭和33年3月末まで)

日 本 藻 類 学 会 懇 談 会 開 催

例年と同様4月上旬に東京で日本水産学会が開かれたのを機に、4月4日午後6時より芝伊皿子町の全海苔会館で本会懇談会を開催した。当日出席した会員は23名で、その他全海苔会館より職員2名の参加があつた。まず須藤幹事の挨拶の後、自己紹介があり、次いで夕食を共にしながら懇談に移つた。しばらく雑談に花を咲かせた後、幹事から一同